

変態心双子



gallery
walhalla

adult
~~18~~
only

私憶えてるよ

完結編

受精卵の時からいつきのめくもりを感じてた

変態双子12



これまでものおおはなし

修堂むつみといつきは二卵性双生児の■学二年生。

ある日、弟のいつきは姉のブルマを穿いてお姉ちゃんオナニー（オネニー）を執行しようとする。

高鳴る鼓動と共にブルマを穿くと・・・いつきは女の子になってしまった！

おちんちんが引っ込む感覚に悶絶している所にブルマフェチの姉むつみが帰宅。目前で悶えているブルマ少女に理性を吹き飛ばされそのまま襲いかかってしまう。

ひとしきりブルマ少女の身体を堪能し、理性が戻ってようやくむつみはこのブルマ少女がいつきだと気づくのであった。

弟にブルマフェチがバレたどころか襲ってしまうという大暴挙に落ち込むむつみ。一方いつきはこの異常体質を問う。

「わたしはスク水を着るとおちんちんが生える」

むつみが説明のため濃紺のスクール水着を着るとむつみの股間にはおちんちんが雄々しくそそり立った！スク水越しに脈打つお姉ちゃんのおちんちんはいつきの理性を吹き飛ばしてしまい、むつみに襲いかかってしまう。

ひとしきり欲情を吐き散らした後、いつきは以前むつみのスク水を着てオナニーをし、その結果スク水越しのおちんちんが好きになったとカミングアウトする。

一方むつみは母から聞いた修堂家の血筋を説明する。

修堂家の女は濃紺のスク水を着るとおちんちんが生えるのだと。しかしながら修堂家の男はブルマを穿くと女体化するという現象はいつきが一族で初めて発見した。ブルマを穿くような変態はいなかったためである。

落ち込むいつきに慌てたむつみは、旧スクだと包茎が生えるという新たな特異体質を実際に見せる。

水抜き穴からこぼれるお姉ちゃんのパッケージに理性を飛ばされたいつきは、舐めてもいいよねと迫る。

すっかり姉のおちんちんと精液に取り憑かれてしまったいつきであった。

後日、むつみは「私の身体にはまだ裏ワザがある」と言い出した。なんとラインの入ったスク水を着るとおちんちんがサイズアップするのである。そしてラインの本数が増えたとサイズも更に大きくなるのだ。

一方いつきにライン入りのブルマを穿かせると果たして巨乳化したのである。ラインが増えたとサイズもアップした。むつみはいつきにフェラチオとパイズリを要求。いつきも嬉々として応じ、精液の奔流に嬌声を上げるのだった。

おちんちんが生えたり引っ込んだりする刺激が苦手だと言ういつき。むつみは「その感覚は亀頭オナニーに近い」と教える。旧スクを着たむつみは肩紐を上げ下げし、着衣、半脱ぎを繰り返した。こうする事によりおちんちんが伸縮を繰り返す亀頭オナニーと同じ感覚を得られるというのだ。

一方伸縮するおちんちんにすっかり心を奪われたいつきはフェラチオさせてくれと懇願する。むつみのおちんちんを欲するあまり、喉奥へ喉奥へと差し込んでいくいつきはついにディープスロートを体得した。

いつきは姉の精液に全身を犯される欲望に苛まれる。そして自らの子宮に精液を注ぎ込まれ、妊娠し、身体全てを作り変えられたという渴望に促されるまま、ついにむつみとのセックスを成し遂げる。行為の後ブルマを脱ぐと体内から精液が排出された。それを見ていつきは何気なく「気持ち悪いね」と呟くのだが、その言葉を聞いたむつみは突如として頭を抱え込む。

一年前、むつみが一だった頃、クラスメイトに東雲琴湮（しののめことり）という少女がいた。彼女もまたブルマ好きであり、むつみは徐々に性的なつながりを琴湮に求めるようになる。

しかし二学期が始まってすぐ、琴湮は両親の都合で転校する事になった。「さようなら。ごめんね。気持ち悪かった」それが琴湮の最後の言葉となった。

過酷な記憶を思い出し半狂乱になるむつみ。しかし姉を一途に想い続けていたいつきは「僕の処女を百回でも千回でも奪って」とすべてを捧げるのだった。破瓜の後、いつきはブルマを穿き替え処女膜を再生させる。

再び激しく抱かれながらいつきは姉への激情を一切合切吐露する。

いつきの激しい愛と情欲の告白に突き動かされ、むつみはもう一つ封印していた記憶を取り戻した。

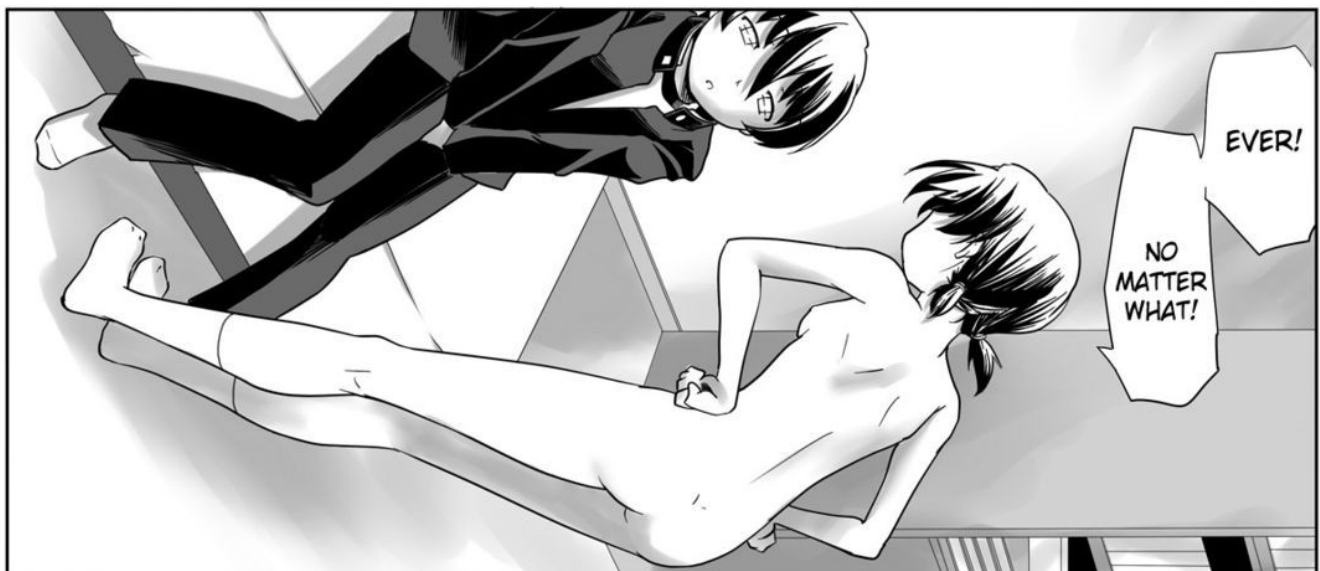
琴湮と別れた直後、むつみはひたすらオナニーに耽っていた。妄想の中で架空の相手を作り上げ、情欲の対象を琴湮からその架空の人物へと移し替えていたのである。

今、いつきと性交しながら、むつみはその架空の相手が、いつきをモデルに編まれた人物だったという事を自覚した。遂に、両思いとなる双子。或いは初めから両思いであった事に気づいた双子。もはや情欲を妨げるものは何もなくなくなった。

衣替えが済むと、冬服の下にブルマとスク水を忍ばせ性転換した状態で登校し始める双子だったが、仕草が余りにも女の子になっってしまったいつきにクラスメイトの鵺屋（もずや）が発情してしまう。いつきの性別に混乱しながらも強引にフェラに持ち込む鵺屋。女の子状態の筋力では抵抗かなわず、口を犯されてしまういつきだった。一方そうとは知らず、むつみはいつきのベッドでオナニーに耽りながら自分の処女を弟に捧げることを決意していた。



TELL
ME WHAT
HAPPENED.





SINCE BEFORE
WE'VE BEEN
TOGETHER.
WE WERE
BORN,

GOT
IT?

I STILL
REMEMBER

YOUR
WARMTH
BACK WHEN
WE WERE
FERTILIZED
EGGS.



HOW?

I
REMEM-
BER!



NO!

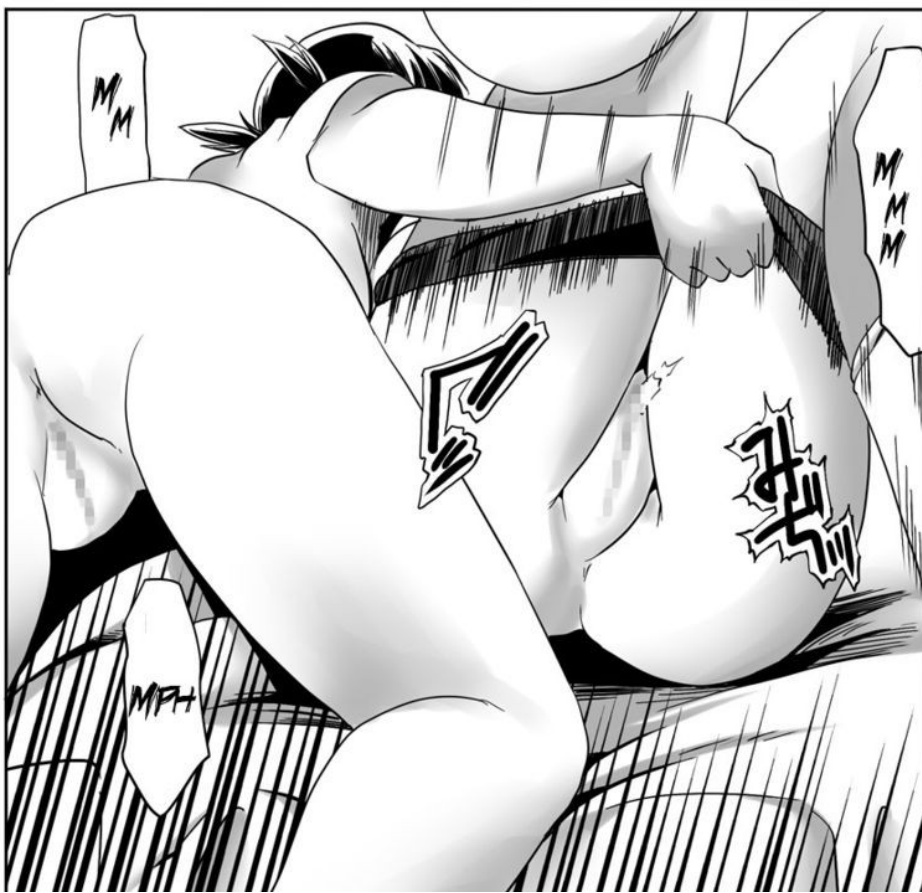
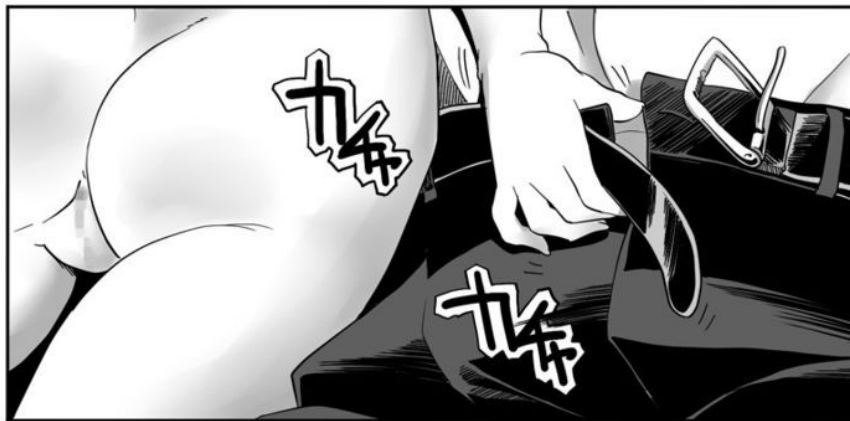
MY
LIPS
ARE...



!



AH









GUH

YOU'LL
BE DIRTIED
TOO!

DON'T!

UGH

WELL,
ITSUKI,

I KISSED
KOTORI AND
HAD SEX
WITH HER.

WHAT
DO YOU
THINK
ABOUT
THAT?

HOW
DO YOU
FEEL?



NGH

I DON'T
SEE ANYONE
BUT YOU!

OTHER
PEOPLE DON'T
MATTER!

WHATEVER
HAPPENED
BEFORE,
AND NO
MATTER WHAT
HAPPENS,

ガッ

WHEREVER
I AM,
IT DOESN'T
MATTER!

SAME
HERE.





WHAT
DO I
DO?

IT HURTS
SO MUCH,
BUT...

YOU
MOVING
INSIDE ME
FEELS SO
GOOD...

LET IT
OUT...

Ah

I'M
CUMMING...

GO
DEEPER
INSIDE
ME!

DEEPER!

MMM...

ONEE-
CHAN...

I'M
CUMMING
INSIDE
YOU...

CLUM...

Ha

Ha



ha...

YOU
MUST HAVE
COME OUT
SO QUICKLY
BECAUSE
YOU WERE
LONELY
WITHOUT ME.

I WAS
DEFINITELY
WAITING
FOR YOU
TO BE
BORN.

I WAS
BORN A
LITTLE BIT
BEFORE
YOU.

ITSUKI,

HEY,

ha...



ha...
ha.. ♡
♡

WE
REALLY
HAVEN'T
BEEN APART
SINCE THE
SECOND WE
WERE
BORN.

WE'VE BEEN
TOGETHER
SINCE THE
BEGINNING
OF THE
BEGINNING.

WHATEVER
HAPPENS
TO US,

NOBODY'S
BEEN ABLE
TO COME
BETWEEN
US.



BECAUSE
WE'VE
REALLY BEEN
TOGETHER
SINCE THE
BEGINNING
OF THE
BEGINNING!

THE ONES
WE LOVE
MOST
ARE EACH
OTHER,

19:00

CUM-
MING...
ONEE-
CHAN, I'M
CUMMING.

ITSUKI,

Ah
YOU'RE
SO CUTE.

MY CUM'S
COMING
OUT...

Ha
YOU'RE
SO CUTE.

CUTE...

STOP...

Ah
DON'T
SAY
THAT...

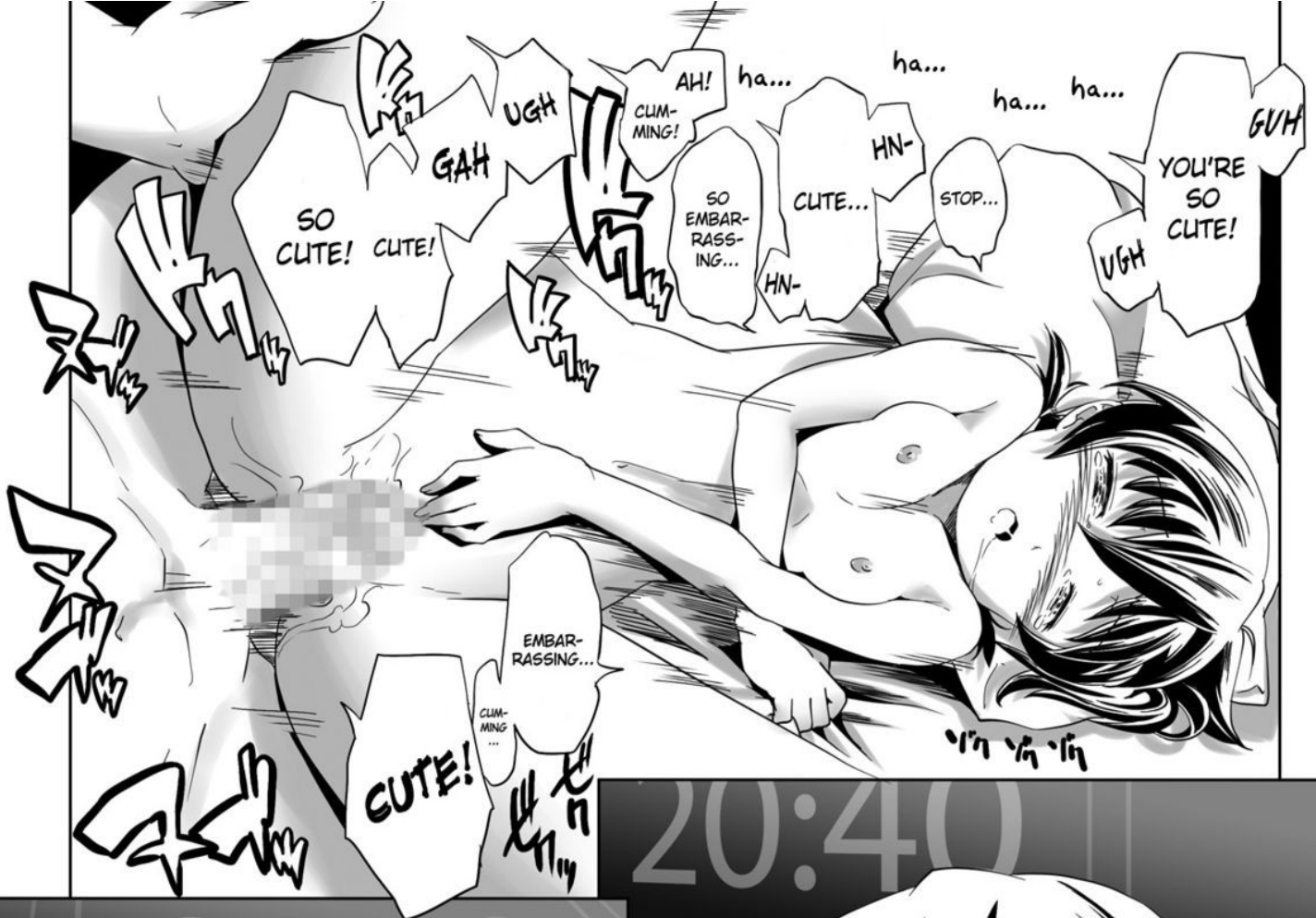
Hng
WHILE
YOU'RE...

CUM-
MING...

AH...

CUMMING!

CUTE!





22:22

Ahh
♡♡♡

I CAN'T HEAR YOU.
SAY IT LOUDER.

Ahh
♡♡♡

I LOVE YOU.
Ah!♡

DO YOU LOVE ME?

Ayah!
I LOVE YOUUU!
♡♡♡

Ha...
CAN YOU SAY IT WHILE BEING CUMMED INSIDE?
Ha...

I LOVE YOU

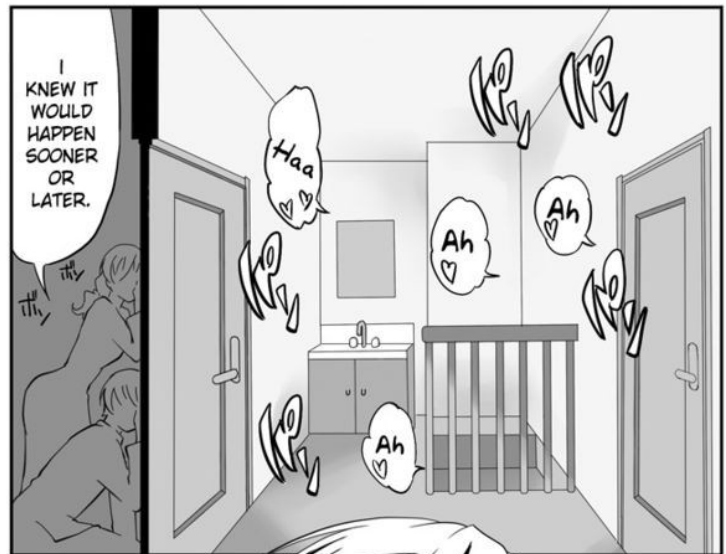
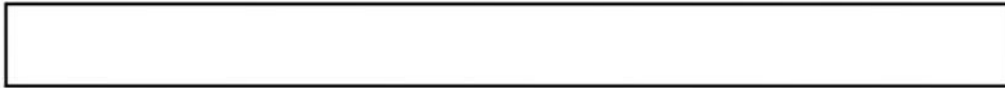
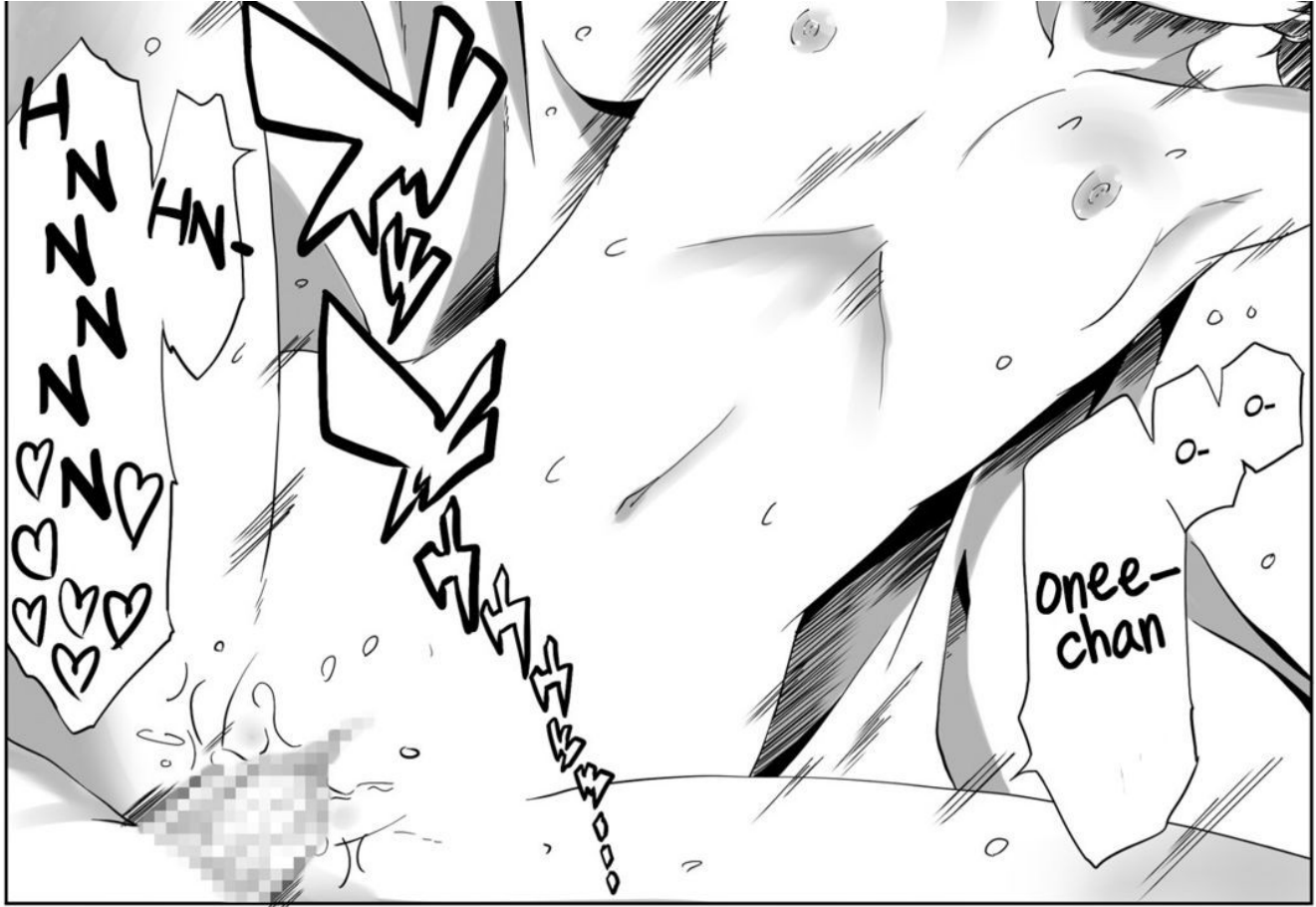
I...
I LOVE YOU!
CUM!

GAH!
LET IT OUT!

I'M
CUMMING!
PUT YOUR HEART INTO IT!

P
A
A
A
A







〈完〉

いやー長かった。大元のプロットが10話完結で元々長かったわけですがようやく完結しました。ここまでお付き合いくださいまして本当にありがとうございました。

特に作画のお手伝いをしてくれた々全さん、かわいスキさん、色々トラブルに巻き込んでしまった事も含めてありがとうございました。

「性転換モノ、今結構来てるから絶対描き続けろ」というAGの助言がなかったら割と途中で投げ出していたと思うので彼にも謝辞を。

それからイベント会場で感想を聞かせて頂いた皆さん。一巻の時点でいきなり豪華な特集ページを作って頂いたメロンブックスさん。高頻度で特集ページを作って頂いたとらのあなさん。ダウンロード系では初めて特集ページを作って頂いたDLsite.comさん。この作品を紹介して頂いたブロガーの皆さん。感想をツイートして頂けるツイッターの皆さん。その他違法合法併せて色々な感想を頂いた皆さん。拙作にこれほどの反響があるとは思ってもせず貴重な体験でした。ありがとうございました。

流石に3年半も描いていると、思いついたけどボツにしたネタがあったり、琴湊なんて想定外のキャラが出てきたり、琴湊のその後とかも余裕で思いついちゃったり、鴎屋くんのその後とかも考えてあげたかったり、双子の両親の話も面白そうだよなとか、次回作思いついちゃったとか、絵柄を変えたいんだけどとか、とにかくアイディアは色々湧いてくるんですね。でもとりあえずメインストーリーは完結させないと恐らくダラダラと尻切れトンボになるだろうという危惧からとにかく一旦終わらせました。まだ一作も完結させた事なかったしね。それにメインストーリーさえ確定させてしまえばスピンオフとかアナザーとか創作の自由度も増すわけで、逆に言えばこれでダラダラと描き続けるための通過儀礼を済ませたのだと言えなくもない。

ただまあこれほど長く描いてるとマンネリを感じるのも確かだし、古い古いとちよいちよい言われている絵柄をもう少し今風に寄せたり派手にしたりしたいんだよなーという欲求をいきなりぶつけるわけにもいかないし、印刷部数をどうするか巻を重ねるたびに段々悩みが重くなっていったり、雨後の筍のような違法アップとダウンロードだったり、それなりにストレスだったことも確かでした。

長く続けるには同人形式の個人でやるよりやっぱり編集さんにマネージされながら商業ベースでやるのがいいのかなと、思った次第でもあります。

あれだけ散々編集さんという存在そのものをディスった挙句にこの結論なんで色々複雑なんですけども。そもそも本作は商業に載るはずが幾度も幾度も失敗してきたわけで、あんまり深く考えると死にたくなる。

ま、とにかく。

とりあえず終わらせたんだからこれはめでたいのであって、果たして次回作はウケるんだろうとか、結局ウケなくて変態双子がライフワークになっちゃったりしないとか、でもライフワークにした方が喜んでくれる人もそれなりにいてくれるんだよなとか、そういう難しい話は一旦脇において浮かれてればいいだろう。浮かれよう。飲んだくれよう、というかこの文章酒飲みながら書いてるし。たぶんシラフで読んだら転げ回るんじゃないかな。面白そうだからこのまま入稿しちゃうけど。

2014年9月下旬

変態双子12

gallery walhalla

庚

2014/10/5

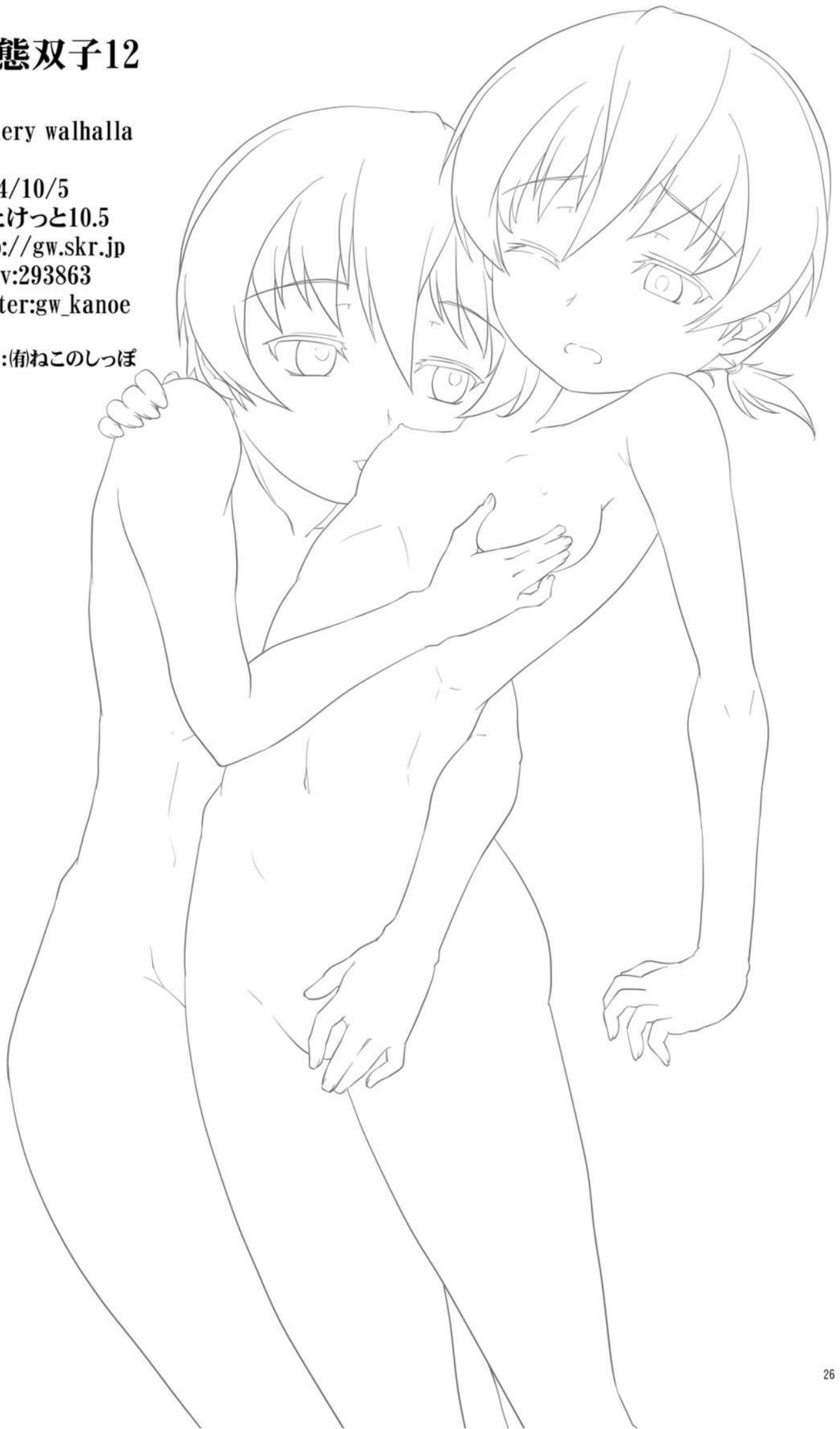
ふたけっと10.5

<http://gw.skr.jp>

pixiv:293863

twitter:gw_kanoe

印刷:有ねこのしっぽ





全12話、かれこれ3年半に渡って性転換モノを描いてきたわけですが、その間「俺はホモなんだろうか、ストレートなんだろうか、潜在的異性装癖なんだろうか」とちょいちょい疑問に思っていました。

読者のみなさんからはどう思われているんでしょうか。

修堂いつきという難儀なキャラを作画するにあたって、否応なく意識させられたのが男女間の骨格の違いでした。

まあ結論を言ってしまうと「男の骨格には性的興奮を覚えない」ということが判ったのです。

女装に萌えないのは男の骨格のせいだし、男の胸と少女の貧乳の違いが明確なのも骨格のせい。

逆に男性器が雄々しくそそり立っていても骨格が女だったらむしろ超ウェルカムだったのです。ご褒美だったのです。

修堂むつみはなんで女の身体におちんちんだけが生えるんだろう？自分で設定しておきながら自問自答していたりしましたが、このお話を描き終えた今、ようやく解答が出た気がします。